

# 第 24 回横浜ドラゴンボートレース

## 大会事前説明会資料

YOKOHAMA DRAGON BOAT RACE 2017

### 各レース名称

- ・ 5 月 27 日 「JB グループカップ」
- ・ 5 月 28 日 「横浜市長杯」
- ・ 6 月 3 日 「フローレンス カップ」
- ・ 6 月 4 日 「コカ・コーライーストジャパン カップ」
- ・ 6 月 4 日 「香港カップ」
- ・ 6 月 4 日 「インターナショナルチャンピオンカップ」

レース受付時間 レース毎に集合時間が違います。

5 月 27 日 「JB グループカップ」

レース参加チーム (Part1) 8 : 00 ~ 8 : 15 (Part2) 12 : 00 ~ 12 : 15

5 月 28 日 「横浜市長杯」

レース参加チーム (Part1) 8 : 00 ~ 8 : 15 (Part2) 12 : 30 ~ 12 : 45

6 月 3 日 「フローレンス カップ」

レース参加チーム (Part1) 8 : 00 ~ 8 : 15 (Part2) 12 : 00 ~ 12 : 15

6 月 4 日 「コカ・コーライーストジャパンカップ」

レース参加チーム 8 : 00 ~ 8 : 15

6 月 4 日 「香港カップ」

レース参加チーム 12 : 00 ~ 12 : 15

6 月 4 日 「インターナショナルチャンピオンカップ」

レース参加チーム 12 : 45 ~ 13 : 00

## 横浜ドラゴンボートレースお願い事項

事故のない楽しい大会にしたいと思います。是非ともご協力をお願い致します。

- ① チームの代表者はチーム全員にルール説明を必ず行って下さい。
- ② 受付にてチーム代表者の当日呼び出し携帯電話番号と集合場所をお聞きします。  
試合の進行に伴い急な電話連絡及び受付への招集があった場合には速やかな対応をお願い致します。
- ③ 駐車場は用意しておりませんので、電車・バス等公共交通機関をご利用下さい。
- ④ 更衣室は会場内にご用意してあります。
- ⑤ チームの代表者はチーム内を取り纏め、招集・乗船等、運営スタッフにご協力を頂き円滑なるレース進行にご協力下さい。  
集合場所へは怪我防止のため、靴を履いてお越してください。  
ボートへの乗船は裸足またはマリンシューズでの乗船を許可しています。  
ビーチサンダルでの乗船はできません。マリンシューズを準備頂くようお願いいたします。
- ⑥ 乗船に際しタイムロスを防ぐ為、あらかじめ乗船の配席の取り決めをし、速やかにスタート地点まで航行願います。ボートの構造上、横方向の安定が良くない為、転覆の恐れもありますので、乗船の際には左右均等にご乗船下さい。また、ボートのへりに手をつくると棧橋や他のボートとの間に手をはさむ可能性もありますので、ボートのへりには手をつかないようにして下さい。
- ⑦ ボート中央部に水抜きの為の穴があり栓をしてあります。栓を取外す事は絶対にしないで下さい。また、乗船時に栓が確実に装着設置されているかをご確認下さい。
- ⑧ スタートラインへ向かうとき及びゴールした後はボート内の水をかき出しながら航行して下さい。
- ⑨ ボートを停止する際はパドルを進行と逆方向に漕ぎ、短距離で停止できる様、操船願います。
- ⑩ レース中、ボートへの浸水があります。沈没を防ぐと同時に船速を上げる為にも浸水した水をかき出して下さい。ボートの中央部に水が溜まりやすいので、中央部の乗船者が水をかき出す役割をして下さい。
- ⑪ レース中パドル等、備品が海中に落下した場合、そのままレースを続行し、下船時にスタッフに申告して下さい。
- ⑫ 乗船後はパドル等備品の確認をして、足りない分はスタッフに申告し、補充をして下さい。
- ⑬ 使用したパドルは棧橋に着船後速やかに運営スタッフに渡して下さい。
- ⑭ レース終了後、チームから代表2名を選出頂き下船後の船に溜まった水のかき出し及び次のチームの乗船補助にご協力下さい。

- ⑮ 各チームはレース終了後必ずレースの結果確認をし、次レース進出が決定したチームは次レースのスタート時間を確認し、スタート時間の 20 分前までにチームのメンバーを招集して準備をして下さい。集合時間に所定位置に不在の場合は、その回のレースは失格といたしますのでご注意ください。
- ⑯ 各チームのメンバー及び関係者は、レース待機中やレース観戦中に一般のお客様の迷惑にならぬよう十分注意して下さい。
- ⑰ 昼食は各自でご用意下さい。  
尚、飲食ブースにて飲料や簡単な食事を販売いたしますのでご利用ください。
- ⑱ 当日受付にてゴミ収集用の袋（缶びんペット用・燃えるごみ用）を配布しますので、ごみの分別と指定集積場所への収集にご協力ください。
- ⑲ 例年、山下公園内の置き引きが発生しています。  
貴重品はチーム内観戦者か、集合場所に設置したコインロッカーへ預けるようお願いいたします。  
受付及び乗船口での貴重品のお預かりは行っておりません。
- ⑳ -1. 園内の樹木等に、シート・旗などを縛り付ける行為などの行為は禁止されております。
- ⑳ -2. 公園内の芝生養生エリアがあります。  
養生エリア内へは立ち入らないようお願いいたします。
- ⑳ -3. 近隣居住者への配慮により騒音対策の対応を行っています。  
太鼓及びラップ等の機材を使用した応援については行わないようお願いいたします。

『来年度、エントリーについて協会からのお願い』

例年、前年度大会エントリーチームに対して当協会から大会開催及び申し込みの資料を郵送、送付しております。

送付資料は「ゆうメール」を使用しております。

参加チームの代表者の方は、転居された場合に新住所をホームページ問い合わせフォームより、メールにて連絡をお願いいたします。

お知らせいただかない場合は、来年のご案内はお手元に届かない場合があります。

予め、ご了承ください。よろしくお願いいたします。

# 横浜ドラゴンボートレース大会ルール

## 1 一般事項

- ①ここに記してあるルール及び要項にそぐわない者は参加資格を与えない。
- ②競技者は大会役員の指示に従い行動をすること。
- ③各チームの代表者(キャプテン)は、大会役員がメンバーを管理している間は、大会役員との連絡係をすること。また、表彰式においてメンバーの代表を勤める。
- ④大会役員は不適切と思われる参加者の競技参加を拒否する権限を有する。

## 2 安全について

- ①全ての競技者は安全の為、ライフジャケットの着用を義務付ける。
- ②競技者は各自安全確保に努め、自己管理する。万一、練習及びレースにおいて競技者同士あるいはチーム内で発生した怪我、事故などの責任を主催者は一切負わない。
- ③大会参加は自己責任とする。チームの代表者は、各選手の健康とケガ防止に留意すること。心臓病や運動中に胸の痛み、気を失ったことのある選手及びペースメーカーを着用している選手の参加は認めない。
- ④明らかに酩酊状態と判断した場合、主催者側は乗船を拒否する権限を有する。上記により人数不足の場合失格とする。

## 3 乗船及び競技者の構成

- ① チームは漕ぎ手18名、太鼓による伴奏者1名、操舵者1名の合計20名(最低15名)で構成され、これに反するチームは失格とする。※協会から操舵者の貸出は行いません。
- ② チーム乗船員の総重量は1,500kg以内であること。あきらかに超えていると判断した場合には乗船時に主催者側にて人数を調整する。
- ③乗船員はルールに従って管理責任を持つこととする。
- ④乗船クルーは小学生以上かつ泳げる者とする。

## 4 集合、乗船準備について

- ①競技者は指定された時間(レース開始20分前)に招集場所に集合し準備すること。
- ②大会役員の指示に従い、順次速やかに乗船すること。
- ③競技用ボートは主催者側の用意したもののみ使用とし、貸与するボートを指定、選定はできない。
- ④パドルは原則として漕ぎ手の人数分とし、予備が必要な場合はスタッフに申告し1本までを認めることとする。但し持込パドルの予備本数には適応しない。
- ⑤乗船後は速やかに乗船桟橋を離れ、スタート地点へ移動すること。
- ⑥ボート表示と同じ番号のレーンにてスタートの待機をすること。

## 5 スタート手順について

- ①スタートはスタートエリア内にて各艇船首が一線上に揃ったと審判員がみなした時点でスタートの合図を発する。
- ②スタート地点においては各チームの公正を図る為、大会役員の指示に従うこと。  
大会役員により公正を欠くと判断されたチームは失格とする。
- ③スタート準備の際、全艇が公平なスタート位置に揃うまで待機し、大会役員の指示にてスタート位置を調整する。
- ④スタートは全艇のスタート位置調整が整い次第、大会役員の合図によりスタートする。スタートラインは陸上側の基準ポールと対岸の基準点との延長線上と設定する。コースブイはレーンセパレートとスタート地点の目安でありスタートラインとは合致しない。
- ⑤大会役員の「レディー ready」の合図で競技者全員パドルを水面より上げ静止。  
その後スタート合図によりスタートとなる。
- ⑥フライングが発生した場合、スタート直後に合図を発する、競技者は競技を中止し速やかにスタートエリアに艇を戻すこと。
- ⑦フライングを2回犯したチームはその時点で失格とする。またフライングを犯したチームがスタートエリアに戻る際、転覆、沈没した場合その時点で失格とする。

## 6 レース管理

- ①スタート後、5分間でゴールできないチーム及びコースを大きく逸脱し審判員が途中失格とみなしたチームは大会役員の指示に従い他の競技者の妨げにならないように速やかに指定された航路を航行し乗船栈橋に戻ることに。
- ②競技者はコースレーンを逸脱しないよう操船に努めること。
- ③競技者は他のチームを妨害、接触をした場合、大会役員の判断により失格とし、抗議は受け付けない。
- ④ボートが破損した場合主催者側は大会役員の協議の上、破損させた競技者に修理費用を請求する事ができる。
- ⑤故意にボートを破損させた競技者には修理費用全額の請求を行う。
- ⑥他のチームの違反（コース斜行等）により成績に影響しても、再レース等を行わない。

## 7 ゴール

- ①ゴールラインの目安として2個のブイを設定するが、ゴールラインは陸上側の基準ポールと対岸の基準点との延長線上と設定する。  
ボートの最先端が通過した時点でゴールとする。
- ②ゴールした後は速やかに指定された航路を航行し台船の乗船栈橋に戻ることに。

## 8 判定

- ①競技者は大会役員の下した判定に従い、いかなる事情においても抗議する権利は持たない。

## **9 装備**

- ①競技用ボート及び航行に必要な備品は主催者側より貸与する。但し安全基準を満たすライフジャケット及び競技規格に準ずるパドルの持込使用を許可する。  
(競技規格とはJDBAもしくはIDBF公認済パドル)
- ②備品の不足、破損は乗船時に各自チェックし、不備の無い事を確認すること。
- ③水没の恐れがあるため、貴重品等は持ち込まない。万一紛失、破損しても主催者側は一切の責任を負わないものとする。

## **10 レース方式**

- ① インターナショナルチャンピオンカップを除くレースは各チーム予選レースを2レース行い、ベストタイムを選択、上位3チームが選出決勝戦へ進出レースを行う。予選上位チームで同着タイムの場合、2レースの合計タイムベストで選択する。  
レース待ち時間短縮の為、前半と後半(Part1、Part2)にレースを分けそれぞれ決勝戦を行う。(参加チーム数によって待ち時間が掛からない場合は除く。)
- ② インターナショナルチャンピオンカップは予選レースのベストタイム上位チームにコース選択権が与えられ、決勝を行うものとする。  
\*レースコンディションによっては、レースを1レースのみ、乗船者の人数を制限する場合があります。

## **11 大会全般**

- ①危険回避の為、指定された航路のみ航行すること。
- ②レース中及びそれに準ずる時、故意に海中に飛び込むなどの危険な行為が行われた場合そのチームは失格とし、翌年度以降の出場を停止とする。
- ③健康面に不安のある方の乗船はできません。
- ④天候不順によりレースを中止する場合があります。
- ⑤レース参加費に関して、天候不順その他の理由においてレースが中止になった場合でも返却致しません。
- ⑥出場チームはルールを把握し理解したものとみなします。ルールに関する疑問等はレース前までに大会本部にて受け付けます。レース後のクレームは一切受け付けません。
- ⑦大会出場中の映像・写真・記事・記録等の肖像権は主催者に属する。
- ⑧貴重品は各自で管理すること。受付及び乗船口でのお預かりは出来ません。  
\*大会会場受付前にコインロッカーも設置しております。